「よい人の哀愁」

最近「人生いろいろ」の歌をしみじみ「そうだ」と思う事に気づく

家庭の中の権限が夫、妻同じということもあるがどちらかに偏ることもある

そして人はずっと同じ環境でいるのがあたりまえでもあり

ずっと愛情をしつづけると思っている

ことでおもしろい「パターン」を見つけた

家庭が大切「奥様が大切」と心配思っている

人がいる　たとえ第愛をとるにもそれを表現

してしまう　ところがどうしうわけか外で

愛をしたいのだ　そして愛をした　家庭が一

番大切なのに愛をした　愛をと相手がうる

さいと思って来ると「ボクには奥様がいる」と

いちおるが愛はつづけたい

この人は大切に　大切に思う家庭と同じぐら

いあそびたい　愛をしたいと思っている人だ

つまり大人でもあるのだ

性格なのか　若いのか　きっと家と物の年が
は　本人自身どっちつかずの人生だと思う
悪をする者ら悪をすれば　家庭がお布な
らしっかり家庭を守れば
家庭は子が悪をしなければ　それはそれで
いい
今の若者がどっちつかずでっうっうしている
ケケでもいが何人かそんな人を見かけたのだ
人でなく物を考えるのも同じようなことが起
える　「ストーリー」で　「すっちがよかったか
「ここっ地ちだ」
物に選っても　この種のまんな　どこから
来るのだろうか　心内の裏側をのか